

第1章 はじめに

1 策定の背景

中学校の部活動は、生徒のスポーツや文化芸術等に親しむ機会を担保する場であるとともに、他学年生徒等との異年齢の人間関係の構築や生徒自身の自己肯定感、責任感、連帯感の涵養等に資するものとして、大きな役割を担ってきました。

一方、部活動は、全国的に少子化が進展し、一部の集団競技では、チームを編成することができず試合に出場することが困難な活動があることや休日の指導・大会引率などの活動を担う教員に大きな負担があることから、これまでと同様の体制で活動を継続することが困難な状況にあります。

こうした状況を踏まえ、令和4年(2022 年)12 月に、スポーツ庁・文化庁は、「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」(以下、「国のガイドライン」という。)を策定し、部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行について、令和5年度(2023 年度)から令和7年度(2025 年度)までの3年間を改革推進期間と位置付けて、部活動の適正な運営、効率的・効果的な活動の在り方、及び新たな地域クラブ活動を整備するために必要な対応を示しました。

国のガイドラインの策定を受けて、東京都は、都内の公立中学校等の休日における部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行が推進されるよう、「学校部活動の地域連携・地域移行に関する推進計画」(以下、「東京都推進計画」という。)を策定しました。区市町村は、本計画に基づき、令和6年度(2024 年度)の早期に地域連携・地域移行に向けた方針及び計画等を策定するとともに、令和7年度(2025 年度)末までに地域連携等に向けた取組に着手し、生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむ環境の充実を図ることが示されました。

2 策定の目的

本計画は、東京都推進計画や市立中学校における部活動に関する課題等を踏まえ、市の実態に合った地域連携・地域移行を実現するため、それぞれの取組の中・長期的な方向性を示すとともに、短期的な本市の取組を示し、部活動の地域連携・地域移行の推進を図ることを目的とします。

3 計画の位置付け

計画期間は、前期調布市基本計画の計画期間と合わせ、令和8年度までとし、その間の具体的な取組と合わせ、今後の展望を示すものとします。

令和9年度以降は、国や東京都等の動向を踏まえるとともに、後期調布市基本計画と整合させ、計画を改定します。

